

令和2年

目黒区教育委員会

第35回定例会会議録

(令和2年10月20日開催)

第35回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 令和2年10月20日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会教育長	関 根 義 孝
	教育委員会教育長職務代行者	笹 尾 敦 夫
	教育委員会委員	櫻 井 道 雄
	教育委員会委員	松 村 眞理子
	教育委員会委員	川 嶋 春 奈

出席職員	教育次長	秋 丸 俊 彦
	教育政策課長	檜 本 達 司
	学校統合推進課長（八雲中央図書館長兼務）	
		関 真 徳
	学校ICT課長	今 村 茂 範
	学校運営課長	濱 下 正 樹
	学校施設計画課長	岡 英 雄
	教育指導課長	竹 花 仁 志
	教育支援課長	細 野 博 司
	統括指導主事	片 山 順 也
	統括指導主事	石 邑 由紀子
	生涯学習課長	千 葉 富美子

書記	森 高 健二郎
----	---------

(議事日程)

日程第 1	報告事項	目黒区基本構想素案（案）について
日程第 2	報告事項	「目黒区教育の情報化推進計画」の策定時期等について
日程第 3	報告事項	令和 2 年度目黒区学力調査実施結果の概要について

(午前9時30分開会)

- 教育長 令和2年第35回目黒区教育委員会定例会を開会いたします。
本日の欠席委員、欠席職員はおりません。署名委員は、櫻井委員
です。
それでは、日程第1を議題とします。

(日程第1 目黒区基本構想素案(案)について(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)
- 教育長 この件についてご質問等はありませんか。
- 委員 言葉の意味を1点確認させてください。資料の26ページの
「(2)学校教育の充実」のところで、「「チーム学校」の推進」
という文言がありますが、「チーム学校」について、改めて説明を
お願いします。
- 説明員 「チーム学校」とは、学校には様々な職員がおりますけれども、
その職員が一体となって子どもたちの育成に関わるということで
ございます。具体的に申し上げますと、教員のほか、学習指導講師、
学習指導員、特別支援教育支援員、スクールサポートスタッフ、副
校長補佐などの職員が、皆で子どもたちのために取り組むことを
「チーム学校」と呼んでございます。
- 教育長 その他ご質問等ございますか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第2を議題とします。

(日程第2 「目黒区教育の情報化推進計画」の策定期等について(報告事
項))

- 説明員 (資料により説明)
- 教育長 この件についてご質問等はありませんか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第3を議題とします。

(日程第3 令和2年度目黒区学力調査実施結果の概要について(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)

- 教育長 この件についてご質問等はございませんか。
- 委員 大変貴重なデータですので、このデータを活用し、授業改善に努めていただきたいと思います。
- 資料の２ページの「調査結果の概況」の表ですが、この表には前年度の数字も記載されているため、比較に活用できるのではないかと思います。
- 例えば、国語の教科では、今年度の６年生の達成率は８４．９％となっており、前年度の５年生の達成率は８３．８％となっています。学年が上がるにつれ、その学年の達成率が高まる傾向にあるのか、また、経年で比較するデータとして、この学力調査実施結果を活用できるのかどうか、事務局の見解を教えてください。
- 説明員 委員のおっしゃるとおり、資料の２ページにつけております表の括弧内の数字は、前年度のものでございまして、今年度のものと比較することができます。そのような形で見ていきますと、数値が向上している教科もあれば、数値が下がっている教科もあります。
- 各学校には、同一集団で見たとき、達成率がどのように推移しているのかを示すデータを提供しておりますので、そのデータにより状況を把握し、下がっている原因や課題を分析し、授業改善につなげているところでございます。
- 委員 分かりました。学力調査実施結果については、保護者にも説明されると思いますが、今、事務局が説明したことについても、何らかの機会に保護者に説明していただきたいです。
- 説明員 保護者へ学力調査実施結果の説明をする際には、前年度の同一集団との比較も、併せて行うよう各学校に伝えてまいりたいと思います。
- 委員 目黒区の子どもたちの学力が全国レベルを上回っていることは、素晴らしいことだと思います。
- また、この報告の資料によると、各学校ごとの授業改善プランまで用意しているとのことで、そのデータを用いれば、小学校ごとの比較や学校の評価、先生の評価も可能になると思います。
- おそらく、このデータを導き出すための膨大な基礎データが存在すると思いますが、そのデータの取扱いは、どのようになさっているのですか。
- 説明員 委員のおっしゃるとおり、本調査により様々なデータが学校に提供されております。ただ、ホームページ等での情報の公開に際しては、学校の序列化のおそれもございますので、そのような事

態が生じない範囲で公開していくことになりますが、各学校では、そのデータを十分に活用できるものと考えております。

例えば、それぞれの教科のデータには、思考力や表現力などの細目のデータもございますし、各学年で誤りの多かった問題に関するデータも示されてございます。また、それぞれの教科ごとの度数分布表も示されております。度数分布表は、そのクラスの傾向も分かるデータとなっておりますので、これらのデータを積極的に活用してもらいたいと考えてございます。

また、これらのデータを意識調査とクロス集計し、活用することもできますので、昨年度から引き続き、授業改善の手引きとして十分に活用するよう各学校に指導・助言を行ってまいりたいと考えております。

○教育長 意識調査と設問の正答割合の相関関係についても、取りまとめはなされていますか。

○説明員 本資料にはございませんが、各学校に提供しているデータの中には、学力調査で５段階に区分した子どもたちが、意識調査においてそれぞれどのように回答したのかを示す分布図もございますので、そのデータも授業改善に活用してもらいたいと考えてございます。

○教育長 その他ご質問等ございますか。
特にないようですのでこの報告を受けました。

○教育長 その他なにかございますか。
以上で本日の定例会を閉会します。

(午前１０時１０分閉会)